

秋田県地域がん登録2006-2008年がん5年相対生存率について

1 前回はん登録部会（平成27年12月15日）における主な意見

意見内容	協議結果・回答
秋田県における5年相対生存率の算出方法と他県の算出方法は同じか。	他県と同様に算出している。
期待生存率について0.5歳加算とあるが、院内がん登録では見られない表現のため、どう解釈したらいいか。	地域がん登録では0.5歳加算するe d e r e f II法が標準の方法であり秋田県もそれになった。他県の報告書等では明記されていないだけで、一般的な方法と理解している。
例えば2006年の相対生存率を出すためには同年のコホート表を用いるべきか、直近のものを用いるべきか。	2006年のコホート表については入手できないので、最新のコホート表を用いて算出した。全国でも最新のものを使っている。
5年相対生存率の算出対象から「他病死」は除いているか。	死亡小票から拾っているので、他病死も含んでいる。
公表の際には全国のデータも一緒に掲載するのか。	秋田県のデータに限って出すと決めている。ただし、参考として全国のデータを参照することとなる。
資料10は「詳細版」となるのか。	資料10は「概要版」であり、その基となった戸堀委員作成の表を「詳細版」と捉えている。
資料10のII結果1-1と1-2の表はまとめて1にすること。その際、様式は1-1のように統一すること。 （※議事録修正依頼の際の意見）	
5年相対生存率は今後も公表していくのか。	公表していく。

2 今回修正事項（資料6参照）

- ①「2 結果」について、「主要部位別」と「部位別」のふたつの表をひとつにまとめ「部位別5年相対生存率」とした。
- ②県民向け広報資料として、新たに「概要版（A3ヨコ）」（資料7参照）を作成した。
- ③文字ポイント、レイアウトを統一するため、エクセル形式からワード形式に改変した。
- ④臨床進行度について地域がん登録で用いる標準的ながんの病期の区分に記載を統一するなど、文言を整理した。